

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 32

(会社名・団体名等)

ライオン株式会社

連絡先等	(住 所) 〒130-8644 東京都墨田区本所 1-3-7 (担当部署等) CSV推進部 (担当: 島崎博子) (電話番号等) TEL: 03-3621-6607 FAX: 03-3625-8625 (URL) https://www.lion.co.jp/ja/csr/social/forest/
------	---

製品等の名称	社員が自発的に行うライオングループでの多岐に渡る間伐材利用
製品・取組の概要	山梨市にある「ライオン山梨の森」の森林整備ボランティアに参加したライオングループの社員たちが自発的に各自部門で間伐材を利用し、その輪を社内外に拡げている。
製品開発・取組のきっかけ	当社は2006年から社員の環境意識醸成を目的に「ライオン山梨の森」で森林整備を開始した。また、都会の企業に求められていることは国産木材の積極活用と発信による社会への啓発であるため、「ライオン山梨の森」の活動時には作業だけでなく、企業の役割についても参加者に話をしている。
製品・取組の内容・特徴	約5年前から CSV 推進部で「ライオン山梨の森」の間伐材を活用した看板やテーブル等を使用開始。近年では自発的に間伐材を利用する部所が増えてきた。総務部は取引先との賀詞交歓会の日本酒用の枡に使い、当社の環境活動のPRに繋げている。枡は今までに1100名の取引先の方々に配布しており、枡には干支の刻印を入れているため、毎年楽しみにコレクションする人まで現れ、都会のビジネスマンたちが間伐材への親しみを持つきっかけを作っている。人事部では定年退職者に記念品としてフォトフレームを贈呈し、退職後も自社に誇りを持ってもらえるような施策を行っている。ライオンケミカル(株)の鹿島工場では安全啓発看板を手掘りで作成して社内に設置し、社員に「ライオン山梨の森」への興味喚起をしている。ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ(株)でも CSV 推進部や総務部の活動に賛同し、看板、枡を採用した。着実に周囲に波及してきている。
間伐材の利用量	間伐材は全て「ライオン山梨の森」の材を中心とする山梨県産材。伐採は森林整備協定を締結している山梨県峡東森林組合に依頼。製材は木net やまなし推進協議会の山梨県内の製材工場を利用。この工場にはチップ工場もあるため、製材する際に出た端材もチップとして全て有効活用している。2013年から6年間で丸太換算で約7m3分を利用。大きな波及効果を生んでいる。
取組による効果等	各部門の社員たちが自ら「ライオン山梨の森」と間伐材活用の必要性をライオングループ全体に浸透させている。森の担当部門(CSV推進部)以外の社員が自ら間伐材を採用する行動は社外の森林関係者からも賞賛されており、環境意識の社内外浸透の良い事例としても社内でも高く評価されている。
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>賀詞交歓会でお客様にふるまう枡</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>定年退職者への記念品フォトフレーム</p> </div> </div>